勿来工業高等学校建築科ＯＢ会
事務局だより

発行所
いわき市石森二丁目1番地の13
発行者
勿来工業高等学校
建築科ＯＢ会
会長 嵐 繁雄
TEL 0246(35)0631
(事務局)

第11回 勿来工業高等学校建築科ＯＢ会 総会

新会長に嵐氏（第六回生）

平成十五年六月二十八日（土）午後四時半から平安閣（平）において勿来工業高等学校建築科ＯＢ会第十一回総会が五十名の会員の出席により開催されました。

司会者に橋本浩喜（二十五回生）さんがつき議長（渡辺　久・十一回生）の開会宣言により議事に入りました。第一号議案に平成十四年度事業報告並びに同収支決算報告に関する件及び会計監査報告があり承認可決され、第二号議案、平成十五年度事業計画（案）、第三号議案、平成十五年度収支予算（案）に関する件が可決されました。又第四号議案、後役員改選に関する件が上呈され、事務局から新役員名が発表され可決し、新会長に嵐繁雄氏が選任され新しい役員による組織が誕生しました。

年々総会出席者が減りつつある中今回は四十回生（今年卒業）の中十名の若いＯＢが出席し平均年齢がグッと若返った総会でした。地元に約千名程度おるＯＢ諸兄の参加をいただき、親睦交流を深めさらなる発展につなげたいと願うものです。

就任のあいさつ

ＯＢ会会長　嵐　繁雄

第十一回総会において、四代目会長を拝命しましたが、微力ではありますが、幹事会の皆様、また会員の皆様のご協力を得ながら精一杯努力して参りますのでどうぞ宜しく御願い致します。

さて、今建築業界はリストラ、倒産など大変厳しい状態が続いています。先の明るい見通しのないままで、景気の回復は期待できず、暗い状態ではありますが、同じ学校の建築科の卒業生であり、共にがんばって生きたいと思います。また、建築科ＯＢ会は単なる親睦会ではありますが、勿来工業高校の建築科卒業という堅い絆で結ばれています。この不景気の時代を乗り切るためにも良い意味で、ＯＢ会を利用して頂きたいと思います。昨年発行した、会員名簿等も情報交換等々に、大いに利用出来るかと思います。

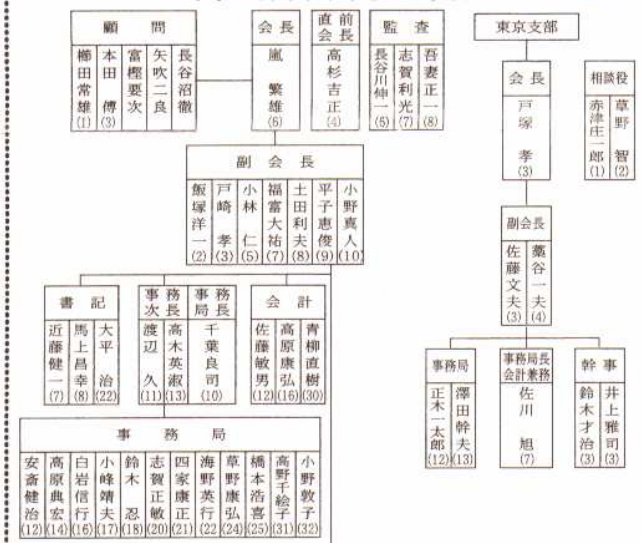
ＯＢ会の事業として、後輩育成のため、平成七年度から卒業設計コンペを開催し、今年で九回目となります。当初より年々レベルがあがってきていますが、ここ二、三年停滞気味となっています。作品内容を充実させるため、ＯＢ会として何かもっと協力できることがあるか、設計コンペ担当の土田副会長を中心に模索しているところです。

会報としての事務局だよりのほか、情報交換の場としてインターネット上にホームページ開設を準備しているところです。将来事務局だよりに代わるものとなり、各回生のクラス会の連絡等々に利用出来るものと思います。

また、事業計画の中に「支部結成をはかる」とありますが、今まで東京支部だけしかありませんでした。ＯＢ会全体を考えるあまり、ＯＢ会全体である、いわき市在住のＯＢの集まりが、総会以外に出来ませんでした。いわき支部を立ち上げることで、活発にグループごとの集まりを持つことが出来るものと思います。

以上のことを念頭に、ＯＢ会の発展のため、執行部役員一同頑張って参りますので、会員の皆様のより一層のご指導、ご協力（終身会費完納を含め）をお願いし、就任のあいさつと致します。

平成15・16年度 勿来工業高等学校建築科ＯＢ会組織図



懇親会報告

総会終了後、楽しみにしていた懇親会が開かれました。

佐藤敏男さん（十二回生）の司会で始まり、勿来工業高校から稲垣校長先生、富樫、矢吹、両元科長、長谷沼現科長を来賓として迎え、各回生ＯＢ諸兄の久しぶりの姿をみる事ができ、各テーブルを囲みながら思い出話や近況報告やら、思い思い楽しいひとときを過ごしました。

特に今回は第四十回生が十名出席した事もあり、今までになく華やかで、新鮮さを感じた懇親会でもありました。

これからのＯＢ会の発展を若い世代により一層頑張ってもらいたく、各ＯＢよりエールを送っていました。

酒の席の時間はアッという間に過ぎてしまい、帰るのが寂しいのか、二組、三組とめいめいにグループを組み、ネオンの街に流れて行きました。

とても楽しいひと時でした。

東京支部だより

佐川旭の建築展 テーマ「森が学校になった」

佐川　旭（七回生）

今夏八月四日～九日の六日間、銀座リクルートビル一階クリエイションギャラリーで私の展覧会が開催された。展示した主な作品は、私がこれまで関わってきた岩手県紫波町の街づくりに関する建築である。

この展覧会は、海外メディアからの取材もあり、多くの人に訪れていただき、会場は都市と地方の交流の場となった。展示した作品のひとつである、今年八月十五年四月）開校した小学校（木造平屋建て、延べ床面積：三〇〇〇㎡）は、半年間で全国から八十ヶ所以上の視察を受け、そして、岩手県紫波町は、環境省より循環型街づくりで全国から五ヶ所選ばれたうちの一つに選ばれた。

今、私が関わってきたこの町は、全国でもっとも元気のある町に育ちつつある。

岩手県紫波町（人口三万四千人）の街づくりは、森林資源環境を中心としている。私はここでの建築に、町内の木材を使って町内の大工さん（職人）に建てていただき、ひとつの建物をつくるのにかかり支部多くの会員に関わっていただくことを求めた。多くの人が関わることで、地域力が高まるからである。例えば、小学校建設では、学校林を使用したため中学生に植林をしてもらい、保育所では、工事中に子ども達とみつろうワックスを塗ることを計画しています。

私は戦後失った人と人、人と物との関係性を、建築を通してもう一度構築したいと考えている。

私たちは、この五十年、百年先の子ども達にどんな建築風景を残していくのだろうかと、まさに今問われているのである。

近況報告

ＯＢ会東京支部長　戸崎　孝

今年五月、一部役員の方々より二代目草野会長の後任として拝名されました。

六月の第十一回本部総会に出席し、支部の活動が最近少なくなって居る事を実感し、七月以降活動を進め会員相互の友好、親睦を深めて参りました。

又今回の総会に参加した際多くの会員に故富樫先生にお会い出来、楽しいひとときを過ごして来ました。東京支部会員に於いては、総会に出席する事は仲々大変な事です。そんな思いから東京支部会員に呼びかけ十一月八日東京上野にある「ふくしま会館」にて富樫先生を囲む親睦交流会を開く事が出来ました。いわきのＯＢ会、有志の出席を含め十八名の人数で思い出に残る楽しい時間を過ごしました。

今後の活動方針としては、本部との連携をはかり支部活動を活性化して行きたいと思います。又、各回生間の連絡をとり合いその中から支部活動へ一人でも多くの参加を心掛けてもらいたいと希望します。

今年も残すところ少なくなってきましたが、年明けにも新年会等も企画して行きたいと思って居ります。

幹事

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
櫛田常雄	鈴木正吉	田中幸夫	本田　博	高杉吉正	酒井　晃	嵐　繁雄	土田利夫	平子恵俊	千葉良司	前橋久弥	佐藤敏男	加藤達志	鈴木健夫	長久保徳幸	北郷昌克	白岩信行	小峰靖夫	小沼雄一	志賀正敏	高家康正	平子　治	二階堂武彦	大谷彰一	高森寿次	高萩智浩	西山隆満	小野秀昭	高橋憲裕	青柳直樹	根本安世	植田直幸	山田保之	小林徳次	高萩紀明	大森敬純	高萩浩二	渡邊敬弘	岡田大介	小野太一郎
飯塚洋一	志賀義雄	高原典宏	志賀利光	福富大祐	鈴木　忍	志賀正敏	吾妻正一	田中松一	渡辺　久	渡辺忠敬	安斎健治	鈴木英淑	舟生秀雄	長谷　均	最上博文	高原康宏	櫛田　稔	遠藤　誠	寺島信浩	新妻篤夫	海野英行	畑　邦則	草野康弘	荒井敏美	高萩智浩	正木清一	長久保宏美	駒崎　聡	石川　誠	小川敦子	立花美和子	芳賀孝之	芳賀智治	小野広之	大塚千晴	渡辺元気	加藤克典	加藤佳子
長瀬孝一	吉田謙一	近藤健一	小野正巳	佐藤康夫	小室慎一	猪狩成人	高原典宏	高橋　誠	鈴木　忍	木村守夫	舟生秀雄	高萩英淑	高橋英淑	高橋　誠	高原康宏	橋本浩喜	田沢　稔	鈴木　忍	高橋　誠	海野英行	畑　邦則	草野康弘	草野康弘	荒井敏美	高萩智浩	高萩智浩	高橋憲裕	駒崎　聡	石川　誠	小川敦子	立花美和子	芳賀孝之	芳賀智治	小野広之	大塚千晴	渡辺元気	加藤克典	加藤佳子

ＯＢ会会員分布状況

ＯＢ会発足（平成五年七月）以来昨年で十周年が経過し今年の建築科卒業生で四十回を迎えました。人数は千五百余名を数えます。しかしながら総会の回を重ねる毎に参加者が減少している現状です。地元いわき市をはじめ関東地区、各方面においてはなはだしく御活躍されております。今年の事業計画にもある様に会員相互の親睦並びに連絡を計るべく各支部の結成をはかり、益々の発展を願うものです。

会員の分布はいわき市が一番多く千名を教え順に茨城、東京、神奈川、埼玉、千葉の順となっております。不明の方も三百名以上おり一人でも多くの所在を確認出来ればと思いますので各回生幹事や事務局へ連絡をお願いします。支部結成や親睦交流に役立てて下さい。

地方名	都市名	会員数
北海道	北海道	3
東北	岩手	2
	福島県内市外	10
	いわき	1,006
	宮城	19
関東	東京	35
	神奈川	30
	千葉	21
	茨城	69
	栃木	6
	埼玉	29
信越	長野	1
	新潟	3
東海	三重	1
近畿	奈良	2
	兵庫	1
九州	鹿児島	1
九州	住所不明	332
	物故	25
合計		1,596